

# 平成26年度 明徳会 事業計画

## ◇ 事業方針

「心と心が通う、深く向き合った支援をしよう！」 みんなと

H24年度から「心と心が通う、深くむきあった支援をしよう！」をスローガンに取り組み、本年度は10周年へ向けて掲げている運営ポリシー3カ年プロジェクト3年目の集大成の年となる。この2年間で培った成果を発揮しながら、「みんなと」を意識し、その輪を広げていけるような取り組みを各事業所・部署で計画実行していきたい。また、H26年度の最重要項目として、H27年度からスタート予定のケアハピネス立ち上げ準備、相談支援事業所の委託に関する検討・準備、就労継続支援B型の安定に向けた取り組みの3つを特に重要視して取り組んでいく一年間としていきたい。

### ● 今後を見据えて

- ① ケアハピネスの準備、スタート
- ② 相談支援事業 H27年度の移行関係 行政説明を受け検討
- ③ ワークス 特にB型の安定化推進
- ④ ビジョンにある障害福祉の専門性の追求
- ⑤ 雇用、職場環境の向上
- ⑥ 地域貢献 社会福祉法人の在り方を追求
- ⑦ 母体である生活介護事業、施設入所支援のサービスの質の向上  
オレンジハウス 本当の意味でのスタート ご利用者様と創る

### ● 重点項目

#### 【ケアハピネス準備室の設置】

生活介護事業所「ケアハピネス」をH27年度4月に開所予定。定員40名の通所施設でオレンジハウスに続き2つ目のめいとくの里敷地外施設となる。一法人一施設からの脱却と現在のめいとくの里だけでは生活介護の受け入れが困難な状況もあり、少しでも特別支援学校を卒業される方の行き場づくりとしての位置づけとなればと考えている。

その開設までの準備段階として今年度からケアハピネス準備室を立ち上げている。その中で基本となる理念の確立、職員のスキルアップ、細かな内容の構築までを一年間かけて準備を行っていく。

#### 【相談支援事業所委託に関する準備】

H27年度から北区の相談支援事業所の委託事業所が現在の4か所から2か所へと変更となる。それに伴い引き続き委託事業所として相談支援事業所を行っていくかの選択が必要となってくる。現段階ではまだ委託に関する運営内容に不明瞭なところがあるため判断が難しい部分もあるが、委託を受けて事業を続けていくことを見据えて準備を行っていく一年としたい。

#### 【就労継続B型】

昨年度10月からスタートし、徐々に利用される方も増えてきている。まだ定員数の半数ほどのご利用であるため、まずは現在行っている中身を充実したものにしていき、その先にある可能性を広げていけるようにしていきたい。この一年で「めいとくの里のB型」の基盤の確立を目指していく。

### ● 委員会組織再編成

昨年度、組織のスリム化を図り、かなり委員会組織を変更している。その中で出てきた反省を基に再度委員会組織の見直しを行っている。より効率的に、負担を均等化することで業務効率化へつなげていきたいと考えている。また、今年度はケアハピネス立ち上げのための人件費や準備等でかなり先行投資しているところがあり、物品関係や光熱費等も年々増加傾向にあるため、節約できるところは節約して

いけるよう各部署ごとに省エネ・節約委員会を設けている。委員会を設けることで具体的な計画を基に節約に向けた動きや意識改革を行い、しっかり結果を出せるよう取り組んでいきたい。

#### ● 10周年へ向けて

ここ数年間、業務効率化や職員のスキルアップに関して取り組んできた。昨年度、大きな成果として委員会をスリム化したことでかなり残業時間は軽減できたように感じている。課題となっていた休憩時間に関してもグループごとで昼食時間の把握を行うことで取ることができるようになってきており、職場環境の改善は少しずつではあるが効果が出てきているように感じている。あきらめず今後もねばり強く続けていきたい。また、職員のスキルアップに関しては今年度から定期的に外部講師を招き、研修を継続的に行うことでより実情に即した研修の実施を行っていくこととしている。今後、新たなチャレンジを続けていくうえでも、それを実行できるような人材を増やしていき地域になくてはならない明徳会となれるよう成長していきたい。

今年度で開所から10年目を迎える。6月には「10年目の集い」と題して式典も計画している。先に挙げた「今後を見据えて」の7つの項目の一つでも多く実現していき、次年度の10周年をめでたくの里らしく「みんなと」「楽しく」迎えることができればと考えている。

以上